

取扱説明書

エア・リベッター

品番：# 3 6 5 8 4 0 0 0 型式：AR-203

1, セッティング方法

※セッティング時は、必ず本商品への空気の供給を止めて、コンプレッサーから外して下さい。

●エア供給口変更方法

本商品には、エア供給口が2カ所備え付けられています。出荷時は、27. サイレンサー側に20PMタイプカプラーが取り付けられています。必要に応じて、反対側のエア供給口をご使用下さい（図1参照）。

- ① 20PMタイプカプラーを反時計回転方向に回し、25. エアシリンダーから取り外して下さい。
- ② 55. エアインレットエンドキャップを反時計回転方向に回し、25. エアシリンダーから55. エアインレットエンドキャップ（54. Oリング組）を取り外して下さい。取り外し後、27. サイレンサー側のエア供給口に、55. エアインレットエンドキャップ（54. Oリング組）を時計回転方向に回して取り付けして下さい。
- ③ ①で取り外した20PMタイプカプラーを、時計回転方向に回してエア供給口に取り付けして下さい。

●1A～1E. ノーズピースの選択と交換

本商品には、4種類・計5ヶの1A～1E. ノーズピースが付属されています。出荷時は、2. ヘッドに1D又は1E. ノーズピースが取り付けられています。使用するリベットのシャフト径に合わせて、交換して下さい（図2参照）。

※ノーズピースのサイズは、リベット径を記載しています。

※53. エアシリンダーエンドキャップ裏の穴ゲージは、リベット径の確認にご使用下さい。

- ① 58. スパナを使用して、1D又は1E. ノーズピースを反時計回転方向に回し、2. ヘッドから取り外して下さい。
- ② 使用するリベットのサイズに合わせて、53. エアシリンダーエンドキャップ裏に付属されているノーズピースを選択し、58. スパナで時計回転方向に回して、2. ヘッドに取り付けして下さい。
- ③ ①で取り外した1D又は1E. ノーズピースを、56. ブラシで清掃後、53. エアシリンダーエンドキャップ裏に収納して下さい。

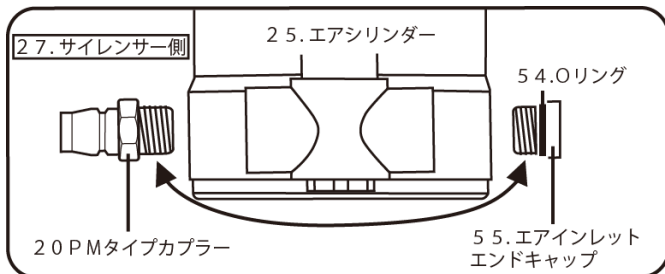


図1

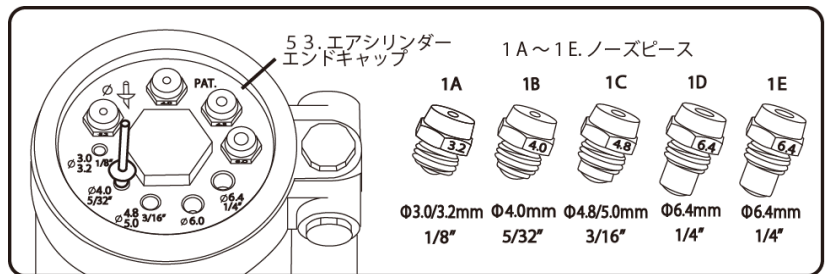


図2

2, 使用方法

- ① リベットする材料の厚さに合ったサイズのリベットを選択して下さい。
 - ② 『1, セッティング方法』を参考にし、本商品の使用前準備を行なって下さい。
 - ③ 本商品の使用前後には、20PMタイプカプラーからタービン（スピンドル）油（#60）を数滴注油して、数回作動させて下さい。給油を怠ると内部に錆が発生し、故障の原因になります。
 - ④ 本商品とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレーター・ルブリケーター（3点セット・別売）を取り付けて下さい。
 - ⑤ 22. オイルシリンダーエンドキャップに、24. コンテナを確実に取り付けして下さい。
 - ⑥ リベットする材料に下穴（リベット径より0.1～0.2mm大きく）を開けて、1A～1E. ノーズピースにリベットのシャフト部を奥まで挿入して下さい。
 - ⑦ 本商品先端を下穴（材料）に軽く押し当て、材料とリベットの間に隙間がない事を確認して、30. トリガーを引いて下さい。1度でリベットが切断出来なければ、再度30. トリガーを引いて下さい。
 - ⑧ リベット完了後は、30. トリガーを離して、本商品内部に残ったシャフトを24. コンテナ側に排出して下さい。
- ※24. コンテナ内のシャフトが、70%を超えた場合は中身を廃棄して下さい。一杯になると故障の原因になります。

3, メンテナンス方法

※メンテナンス時は、必ず本商品への空気の供給を止めて、コンプレッサーから外して下さい。

※メンテナンスは1週間毎に行なって下さい。

● 3AY. ジョーケースアセンブリの清掃・交換方法 (図3参照)

- ① 58. スパナを使用して、1A~1E. ノーズピースを反時計回転方向に回し、2. ヘッドから取り外して下さい。
- ② 58. スパナを使用して、2. ヘッドを反時計回転方向に回し、12. オイルシリンダーから取り外して下さい。
- ③ 57. スパナを使用して、3. フロントジョーケースを反時計回転方向に回して、取り外して下さい。その際、7. リアジョーケースが回りしないように58. スパナで固定して下さい。続いて、58. スパナを使用して、7. リアジョーケースを反時計回転方向に回して取り外して下さい。その際、9. ロックナットが回りしないように57. スパナで固定して下さい。最後に8. ロックワッシャー、9. ロックナットを15. オイルピストンから取り外して下さい。
- ④ 分解した3AY. ジョーケースアセンブリの各部品を、56. ブラシとオイルで清掃して下さい。
- ⑤ 清掃後、各部品が磨耗していないか確認して下さい。4. ジョーが磨耗している場合は、予備の4. ジョーと交換して下さい。その他の部品が磨耗している場合は、販売店までご連絡下さい。
- ⑥ 組付け前に、3. フロントジョーケースと7. リアジョーケースの内側にグリスを塗って下さい。
- ⑦ 15. オイルピストンに、9. ロックナット、8. ロックワッシャー、7. リアジョーケースの順で時計回転方向へ回して取り付けして下さい。続いて、7. リアジョーケース内に6. ジョープッシャーสปリングを組み込んで下さい。
※この時点で、9. ロックナットは7. リアジョーケースに対し、本締めしないで下さい。
- ⑧ 3. フロントジョーケース内に4. ジョー、5. ジョープッシャーを組み込んで下さい。続いて、57. スパナを使用して、3. フロントジョーケースを時計回転方向に回して、7. リアジョーケースへ取り付けてして下さい。その際、7. リアジョーケースが回りしないように58. スパナで固定して下さい。
- ⑨ 3AY. ジョーケースアセンブリの取り付け位置が、12. オイルシリンダーから 65 ± 0.5 mmの位置になるよう、57. スパナの目盛で調整し、同スパナで9. ロックナットを7. リアジョーケースに対し、本締めして下さい (図4参照)。
- ⑩ 58. スパナを使用して、2. ヘッドを時計回転方向に回し、12. オイルシリンダーに取り付けして下さい。
- ⑪ 本商品へコンプレッサーを接続し、30. トリガーを2回引き込んで下さい。3AY. ジョーケースアセンブリが正規の位置にセットされます。その後、58. スパナを使用して、1A~1E. ノーズピースを時計回転方向に回し、2. ヘッドに取り付けして下さい。

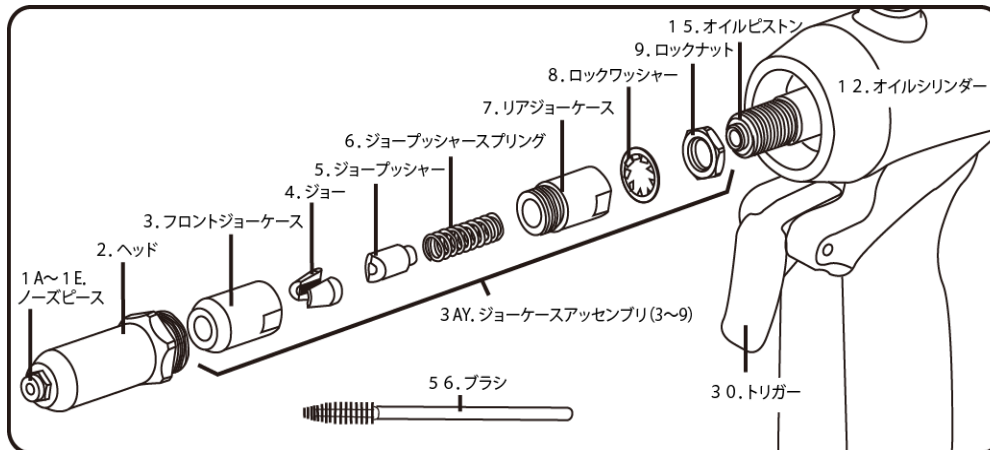


図3

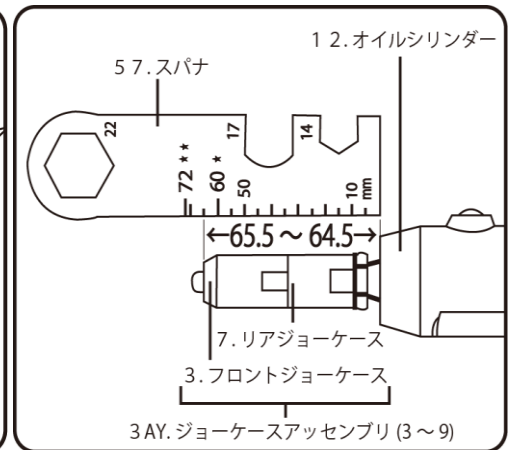


図4

● 27. サイレンサーの清掃方法 (図5参照)

- ① 28. ロックナットを反時計回転方向に回し、25. エアシリンダーから27. サイレンサー、28. ロックナットを取り外して下さい。
- ② 27. サイレンサーをブレーキパーツクリーナーなどで清掃して下さい。27. サイレンサーにゴミが詰まっていたり、変形している場合は販売店までご連絡下さい。
- ③ 清掃完了後、25. エアシリンダーに27. サイレンサーを取り付け、28. ロックナットを時計回転方向に回し、しっかり締め付けて下さい。

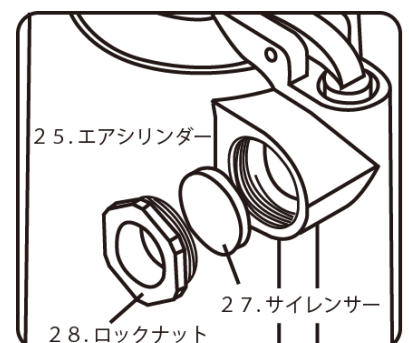


図5

品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1 A	ノーズピース φ3.0/3.2mm or 1/8"	1 9	リターンスプリング小	4 2	Oリング
1 B	ノーズピース φ4.0mm or 5/32"	2 0	Oリング	4 3	バルブボール
1 C	ノーズピース φ4.8/5.0mm or 3/16"	2 1	つり下げ金具	4 4	バルブスプリング
1 D	ノーズピース φ6.4mm or 1/4"	2 2	オイルシリンダーエンドキャップ	4 5	Oリング
1 E	ノーズピース φ6.4mm or 1/4"	2 3	Oリング	4 6	バルブエンドキャップ
2	ヘッド	2 4	コンテナー	3 7 AY	バルブアッセンブリ (36~46)
3	フロントジョーケース	2 5	エアシリンダー	4 7	バッフアーリング
4	ジョー	2 6	ロックネジ	4 8	エアピストンリング
5	ジョーブッシャー	2 7	サイレンサー	4 9	エアピストンロッド
6	ジョーブッシャースプリング	2 8	ロックナット	5 0	エアピストン
7	リアジョーケース	2 9	ロックナット	5 1	ロックナット
8	ロックワッシャー	3 0	トリガー	5 0 AY	エアピストンアッセンブリ (47~51)
9	ロックナット	3 1	トリガーリンク	5 2	Oリング
3 AY	ジョーケースアッセンブリ (3~9)	3 2	トリガーレバー	5 3	エアシリンダーエンドキャップ
1 0	Oリング	3 3	リンクピン	5 4	Oリング
1 1	バックアップリング	3 4	トリガーピン	5 5	エアインレットエンドキャップ
1 2	オイルシリンダー	3 5	レバーピン	5 6	ブラシ
1 3	シーリングワッシャー	3 0 AY	トリガーアッセンブリ (30~35)	5 7	スパナ
1 4	オイルスクリュープラグ	3 6	Oリング	5 8	スパナ
1 5	オイルピストン	3 7	バルブブッシャー	5 9	オイル注入器
1 6	Oリング	3 8	Oリング	6 0	オイルボトル
1 7	バックアップリング	3 9	バルブブッシャースプリング	6 1	グリップ
1 5 AY	オイルピストンアッセンブリ (15~17)	4 0	Oリング		
1 8	リターンスプリング大	4 1	バルブスリーブ		

5, 注意事項

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)
<p>①本商品の最大使用空気圧は、7 0 0 k P a (7 . 1 3 k g / c m ²)です。それ以上の空気圧で本商品を使用しないで下さい。</p> <p>②本商品に使用出来るリベット径はφ3. 0～φ6. 4mmです。それ以外のサイズのリベットを本商品で使用しないで下さい。</p> <p>③本商品の使用オイルは、一般油圧作動油 (I S O V G - 4 6) です。ガソリン、灯油等の可燃性オイルを絶対に使用しないで下さい。</p> <p>④本商品のメンテナンス以外の分解、修理、改造は決してしないで下さい。発火したり、異常作動を起こして、ケガをする恐れがあります。</p> <p>⑤可燃性物質がある場所では使用しないで下さい。発火して火事になる恐れがあります。</p> <p>⑥2. ヘッドを外した状態で本商品を使用しないで下さい。指等を挟む恐れがあります。</p> <p>⑦本商品を人に向けて使用しないで下さい。リベットが飛び出し大変危険です。</p> <p>⑧本商品に顔等を近付けしないで下さい。油分やリベットが飛び出し、事故に繋がる恐れがあります。</p> <p>⑨2 4. コンテナーを取り付けずに本商品を使用しないで下さい。</p>

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)
<p>①使用、修理、メンテナンス、付属部品交換時等は取扱説明書をよく読んで下さい。</p> <p>②リベットのシャフト径に合ったノーズピースを確実に使用して下さい。</p> <p>③本商品を安全にご使用いただくために、必ず付属の純正部品を使用して下さい。</p> <p>④本商品の付属部品交換やメンテナンスを行う際は、必ず空気の供給を止めて下さい。</p> <p>⑤本商品はブラインドリベットを使用して、リベットをかしめる機器です。その他の用途には使用しないで下さい。</p> <p>⑥本商品が故障した場合や破損箇所が有る場合は、直ちに使用を中止して下さい。</p> <p>⑦本商品の動作温度範囲は0℃～40℃です。その他の温度で保管、使用すると製品の破損、劣化の原因となります</p> <p>⑧作業に適した服装、手袋、安全メガネ等を装着して作業を行って下さい。</p> <p>⑨作業場所は常に整理して、作業関係者以外は、作業する場所に近付けしないで下さい。</p> <p>⑩リベットの先端は鋭利になっています。十分に注意して作業を行って下さい。</p> <p>⑪高所作業の際は、下に人がいない事を十分に確認して下さい。シャフトの落下等で事故に繋がる恐れがあります。</p>